京大「突き抜けた自由」

エリート養成大学院創設で変わるか

哲学を語れるヤツがかっこいい。常識を疑える頭脳が尊敬される。大人の目を気にしない「自由の校風」が、社会を変える人材を生み出す。

クラスのスーパービッグな起業家は出ていない。総合政策学部と言いながら、著名政治家もあまり出せていない。あと10年以内に小泉進次郎のようなスター政治家を出せなかったら、そこで終わりでしょう」

設立当初、最大の売りだった「新しさ」を更新できなくなっているのでは、と佐々木は言う。2代目総合政策学部長だった井関利明も「気づいたら、普通の学部になってしまったと感じる」と言う。

「SFCは慶應のなかの『特区』だった。本体がダメになったときは、特区が本体になり代わらなければいけない、という思いで私たちはSFCを作ったが、いつまでも特区は特区のままだった。スタッフの入れ替えもあり、SFCの精神を語り継ぐ『語り部』もいなくなった」

じげん社長
平尾 丈(30)
私立進学校出身で、同級生たちが「周囲に勧められたから」というだけの理由で東大を目指す姿に違和感があった。「自分は高卒で就職しようと思っていたくらいでしたから」。リクルート入社後、25歳で同社関連会社の社長となり、2010年に独立した

二世、三世とのつながり

こうした見方に対し、

「今でも、学生は新しいことに挑戦し続けていると思いますよ。それに言われているほど、SFCとそれ以外の学生のマインドが違うとは私は思わない。SFCでやっている私の授業やゼミに、三田からわざわざ来る学生も結構いますよ」

と言うのは、総合政策学部准教授でまちづくり論などを担当する飯盛義徳。

「上下の関係が弱い」と言われがちなSFCだが、起業を目指す学生と社会人をつなぐ「メンター三田会」という組織もあり、コンサルタントや弁護士、会計士などからなる約80人のメンバーが、学生たちの相談に乗る。意欲ある学生を支援するため、入学金、授業料、生活費（月約10万円）を給付する「メンター三田会奨学金」もある。

「起業してみて、あらためて慶應の価値に気づきました」

と言うのは、個人がバイヤーとなって世界中から商品を買い付けるショッピングサイトを運営する「エニグモ」CEOの須田将啓(39)。矢上キャンパス（横浜市）にある理工学部の出身で、三田の出身ではないが、世界のどこへ行っても三田会のメンバーがいて支援してくれた。

エニグモCEO
須田将啓(39)
ショッピングサイト「バイマ」を運営する。「バイヤーというプロの領域を個人にクラウドソーシングしているのが特徴。個人が束になれば、プロを凌駕できる。これまで企業やメディアが作ってきたトレンドの発信源を個人にするという小さな流通革命を起こしたい」と言う。博報堂出身

「『ベンチャー三田会』という組織の幹事もしていて、後輩たちの相談にも乗っているのですが、ベンチャーながらみんなガツガツしていなくて、奥ゆかしく、ビジネスマナーをわきまえているところがいいですね」

「スマート」「洗練」という慶應ブランドを語る上で欠かせないのが、「良家の二世、三世」の存在。須田の同世代には、麻生太郎副総理のおいで、麻生グループの中核会社麻生の麻生厳社長、大塚製薬のグループ企業で、大塚倉庫社長の大塚太郎などがいる。異質でとがった人材を受け入れる一方で、歴史と伝統に裏打ちされたエスタブリッシュメントとの緊密な関係を保っているのも慶應ならではだ。

前出のマザーハウスの山崎も言う。

「社長と副社長が揃って慶應でしょ？とよく言われます。メーカーや銀行などにも慶應の先輩は必ずいますし、百貨店の偉い方から、『慶應の若い後輩を応援したい』とお声掛けいただくこともあるし、ありがたいことだと思っています」

SFCの遺伝子と、慶應が本来もつ人脈力が融合されたときに、さらに突破力のある人材が生まれるのかもしれない。

（文中敬称略）

ベランダに置かれている灰皿は吸い殻で満杯、室内に置かれた机の上には、読み古された数学や般若心経の本が積み上げられている。

東京・渋谷の古いマンションの一室にある起業家支援コワーキングスペース「スタートアップ44田寮」は、マックを小脇にかかえたオシャレなノマドワーカーが逃げ出したくなるような、雑然とした雰囲気だ。

「大人が踏み込めない、一昔前の学生寮みたいなスペースを作りたかったんです」

麻雀卓囲んで哲学

運営する赤木優理(35)はそう言う。

モデルにしているのは、京大の学生寮「吉田寮」。京都大学工学部に入学した赤木はほとんど授業には出なかったが、時折、顔を出した吉田寮の空気は強烈だった。キャンパス内にあるが、運営は完全に学生の自治に任されており、ボロボロの木造建築のなかで昼間から酒を飲み、麻雀卓を囲みながら、哲学の話をするカオスな空間。変わったヤツがゴロゴロいた。

「44田寮」が支援した企業には、数学やビジネスなどに関する授業を生放送する「school（スクール）」、フェイスブック連動型の部屋探しサービス「ietty（イエッティ）」などがある。起業家が成長するためには、投資を受けることは重要な選択肢の一つ。だが、事業モデルも定まっていない段階で投資を受けることで、投資家など「大人たちの都合」で、独創的なサービスが収益重視に変わってしまうこともままある、と赤木は言う。

「そんなとき、若い起業家たちが直接、投資家の誘いを断るのは理想的ではないので、『44田寮に相談したらダメだと言われた……』と使ってもらえるような存在でありたい」

ニコニコ動画を立ち上げたドワンゴ創業者の川上量生（のぶお）(1968年生まれ)、個性的で良質な本を出版するミシマ社代表の三島邦弘(75年生まれ)など(表)、京大もまたユニークな人材が輩出した。そこにはやはり根底に突き抜けた「自由さ」があるからだろう。

大学脱ベンチャー

ウェブソリューション事業を手がける「ゆめみ」代表取締役の片岡俊行(36)は吉田寮出身。高3のとき、時々高校を休んで京大の授業を聴きにいったが、「潜り高校生」の存在も黙認されていた。京大理学部に入学した後はほとんど授業に行かず、独学で数学や物理を学んだ。大学院は情報学研究科に進み、同じ研究室にいた深田浩嗣(36)らとともに、ゆめみを創業。

「吉田寮では月2千円くらいで暮らせていたから、起業して失敗してもなんとか生きていけるかな、と思っていました。大学院は休学、留年を繰り返して、そのまま起業。大学発ベンチャーじゃなくて、大学脱ベンチャーです（笑）」

上下の人脈が強い慶應との最大の違いは、京大生の愛校心が少ないこと。ゆめみの共同代表取締役である深田は言う。

「京大卒の社長の集まりとかあっても同窓意識がないから、全然盛り上がらない。共通しているのは、『東大が嫌い』ということ（笑）。巨人と阪神みたいなもので、東大は京大のこと気にしていないと思うんですが。ただ、東大に入れるけど、あえて京大を選ぶという人は昔から一定数いて、体制におもねらないぞと、変なことを面白がったり、楽しんだりすることを良しとする雰囲気がある」

エリート養成大学院

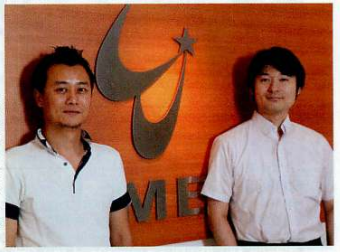
自由で、ほったらかしで、大学は何も学生に関与しない――それが伝統だった京大も、少しずつ「面倒見のいい大学」へと変わりつつある。4月には、5年一貫でグローバルリーダーを育てる文理融合型の新しい大学院の総合生存学館、通称「思修館」が創設された。

国内外でのインターンシップ、フィールドワーク、産官学連携特別セミナーなどのカリキュラムを通じ、国際アナリスト、アントレプレナー、ビッグデータ活用実務家などの分野でリーダーとなる人材養成を目指す。学生一人ひとりに合わせた「テーラーメード型教育」が売りだ。

「手間ひまかけたエリート養成なんて、京大らしくない」という声もある。だが、慶應のSFCだって、「慶應らしくない」とさんざん批判されてきて、その上に今の地位を築いた。京大の新しい挑戦が実を結ぶのかどうか。検証にはまだまだ時間がかかるだろう。

（文中敬称略）

スタートアップ44田寮
寮長
赤木優理(35)
父も妹も京大という京大一家出身で、京大工学部建築学科卒。授業に行かずに、アルバイトばかりしていたが、京大で学んだことは大きかった。「世の中で当たり前、とされていることを疑い、考えさせる校風だった」と言う。「理屈っぽいヤツが多かったです」



ゆめみ代表取締役
片岡俊行(36)
深田浩嗣(36)
深田（左）は工学部出身。「大学の教育は限りなく放置に近かった。入学するまでコンピューターなんてファミコンくらいしか触ったことがなかったのに、プログラミング実習の授業では、いきなり参考書をぽん、と示されて、「やれ」ですからね」

京都大学出身者にも

	生年	出身学部	役職など
川上量生	68	工	ドワンゴ創業者
福井裕輝	69	工、医	精神科医
木南陽介	74	総合人間	リサイクルワン社長。マッキンゼー出身
中村俊裕	74	法	米NPOコペルニク共同創設者兼CEO
高橋智隆	75	工	ロボットクリエーター
小山龍介	75	文	ブルームコンセプト代表。コンセプトクリエーター
三島邦弘	75	文	出版社「ミシマ社」代表
近藤淳也	75	理	人力検索サイト「はてな」を開発、はてな社長
片岡俊行	76	理	ゆめみ代表取締役
辻 庸介	76	農	マネーフォワードCEO
深田浩嗣	76	工	ゆめみ代表取締役
赤木優理	78	工	コワーキングスペース「StartUp44田寮」寮長
武永修一	78	法	オークファン社長
伊藤洋志	79	農	「ナリワイ」実践者
辻野貴志	82	工	サイエンス・グラフィックス代表
西辻一真	82	農	マイファーム代表。耕作放棄地の活用を進める
仲 暁子	84	経済	ウォンテッド社長。ゴールドマンサックス出身
卜部宏樹	86	総合人間	アプリボット社長